

簿記検定試験初級 出題範囲・内容

(2027 年度試験から適用する暫定版 (2022 年度版からの変更箇所を記載))

2016 年 11 月 17 日 制定

2025 年 12 月 25 日 改定

(2027 年 4 月 1 日 施行)

1. 簿記の基本原理

(1) 基礎概念

- ・資産、負債、および純資産(資本)
- ・収益、費用
- ・損益計算書と貸借対照表との関係

(2) 取引

- ・取引の意義と種類
- ・取引の 8 要素と結合関係

(3) 勘定

- ・勘定の意義と分類
- ・勘定記入法則
- ・仕訳の意義
- ・貸借平均の原理

(4) 帳簿

- ・主要簿 (仕訳帳と総勘定元帳)
- ・補助簿

(5) 証ひょうと伝票

- ・証ひょう
- ・伝票 (入金、出金、振替の各伝票)
- ・伝票の集計・管理

2. 期中取引の処理

- ・別に定める勘定科目の範囲で、期中取引の処理 (仕訳等) を行う。

(1) 現金預金

- ・現金
- ・普通預金、当座預金、その他の預貯金

(2) 売掛金と買掛金

- ・売掛金、買掛金
- ・クレジット売掛金(キャッシュレス決済を含む)

(3) その他の債権と債務

- ・貸付金、借入金
- ・未収入金、未払金
- ・前払金、前受金
- ・立替金、預り金
- ・仮払金、仮受金

(4) 手形電子記録債権・電子記録債務

- ~~・振出、受入、支払~~
- ・電子記録債権、電子記録債務

(5) 商品

- ・3分(割)法による売買取引の処理
- ・仕入および売上の返品

(6) 固定資産

- ・有形固定資産の取得
- ・有形固定資産の売却(土地のみを対象とする)
- ・減価償却(減価償却費は見積額を毎月計上する)

(7) 純資産(資本)

- ・資本金(追加元入、引出を含む)

(8) 収益と費用

(消耗品の処理は、支払い時に消耗品費勘定で処理する方法のみに限る)

(9) 税金

- ・所得税

- ・固定資産税
- ・印紙税（「固定資産税など」に含まれていたが初級では明記）
- ・消費税（税抜方式に限る）

3. 月次の集計

- ・別に定める勘定科目の範囲での試算表（合計、残高、合計残高）による月次集計を行い、数値を読み取る。

資産総額	負債残高	売上高
現金残高	買掛金残高（未払額）	費用総額
現金の純増加額	資本金（追加元入額）	当月の損益
（当座）預金残高	未払の税額	
売掛金回収額		
売掛金残高（未回収額）		等
商品残高（次期繰越）		
商品仕入高		

●使用する勘定科目

	現金	普通当座預金	普通当座預金	定期預金	売掛金
資産	クレジット売掛金	貸付金	立替金	前払金	未収入金
	仮払金	受取手形	電子記録債権	繰越商品	備品
	車両運搬具	建物	土地	減価償却累計額	仮払消費税
負債	買掛金	借入金	前受金	未払金	仮受金
	預り金	支払手形	電子記録債務	未払固定資産税	仮受消費税
純資産（資本）	資本金				
収益	売上	受取家賃	受取地代	受取手数料	受取利息
	固定資産売却益				
費用	仕入	発送費	給料	広告宣伝費	支払手数料
	支払利息	旅費交通費	減価償却費	通信費	消耗品費
	水道光熱費	支払家賃	支払地代	保険料	租税公課
	修繕費	雑費	固定資産売却損		